

シンガポール国際水週間 2014 ～地球規模で水処理の解決策を分かち合おう～

独立以来、最大の課題であった水資源確保の問題を、再生水や海水淡水化技術の開発などにより、克服しつつあるシンガポールで、今回で第6回目を迎えるシンガポール国際水週間（Singapore International Water Week 2014：以下、SIWW）（2012年以降隔年開催）が開催されました。今回も前回同様、世界都市会議及びクリーン環境サミットが同時に開催され、世界118ヶ国・地域の政府、産業、学術関係機



水エキスポ内のジャパン・パビリオン

関、NGO等さまざまな立場から2万人以上が集い、知識を深め新たなビジネスチャンスを広げるための熱気に満ちた議論や情報交換、商談等が行われました。

期間中は、水処理技術、漏水対策、水の再利用化技術、水質モニタリング等の技術会議や、東南アジア、中国、インド、中東、北アフリカなど世界各国・地域が主催するビジネスフォーラムが行われました。また、水処理の最先端技術を紹介する「水エキスポ」が開催され、シンガポールに加えて米国、欧州、日本、韓国、中国などから約800企業と24団体が参加しました。今回は展示スペース2万3千㎡と過去最大規模となり、145億シンガポールドル（約1兆1,745億円）の商談や研究開発に関する契約・覚書が成立しました。

■シンガポール国際水週間概要

開催期間	2014年6月1日（日）～6月5日（木）
開催場所	マリーナベイサンズ エキスポ・会議場
テーマ	革新的な水処理の解決策を分かち合い共同で創造するための地球規模の基礎の構築
主催	Singapore International Water Week Pte Ltd 環境・水資源省（Ministry of the Environment Water Resource） 及び公益企業庁（Public Utilities Board）により設立
主な内容	水リーダーズサミット、水会議、水エキスポ、Lee Kuan Yew 水賞、 各国ビジネスフォーラム、サイトビジットほか

■シンガポール国際水週間の意義

SIWW は、シンガポール政府機関で水事業統括機関である公営事業庁（以下、PUB）を中心に、経済開発庁（EDB）、国際企業庁（IE）、規格生産性改革局（SPRING）が協力して組織した「環境・水産業開発協議会」が 2008 年より実施してきました。

シンガポールは 1965 年の独立以来安定した水の供給が課題であり、再生水や海水淡水化など水処理技術の開発に率先して取り組んできました。シンガポールは長年の水資源開発により集積した水関連産業を発展させ、最先端の水関連技術開発拠点となり、新たに開発された技術を世界に向けて輸出する「グローバル・ハイドロ・ハブ」としての地位を目指してきました。SIWW の開催は、シンガポールの水関連産業における地位を改めて世界各国に PR する狙いがあります。世界各国の水処理関連機関にとっても技術向上のための情報収集や大きなビジネスチャンスの場となっています。

■日本の地方自治体の出展

水エキスポ会場内に日本貿易振興機構（JETRO）シンガポール事務所により「ジャパン・パビリオン」が設置され、日本の企業や自治体等、27 団体の製品や研究開発などが紹介されました。ジャパン・パビリオン内には東芝や三菱重工業などの大手企業に加え、東京都、広島県、横浜市、神戸市、福岡市が出展しました。東京都ブースでは「東京水」を知ってもらおうと、市販のミネラルウォーターと東京の高度浄水処理 100%の水を詰めたペットボトル「東京水」との飲み比べを行っていました。



積み上げられた「東京水」
で美味しい水を PR

パネルの展示等により水に関する自治体の取組みの紹介を行うだけでなく、地場企業との商談の場を設けた自治体もあり、SIWW への参加をチャンスと捉えて具体的なビジネスに結びつけようという意気込みが感じられました。

■サイトビジットに参加して

世界中から水関係者が集まる SIWW の期間中、シンガポール国内の水関連施設へのサイトビジットが用意されています。シンガポール国内の水処理技術を世界から集まる同業者に知ってもらい、ビジネスに結びつける狙いがあります。参加者は通常なかなか訪れることのできない下水処理施設や海水淡水化施設等を訪問できます。チャンギ地区の下水処理施設へのサイ



Newater 製造プラント

トビジットに参加しましたが世界中から多くの方が参加していました。施設内ではシンガポールが誇る水再生技術の現場であるニューウォーター（下水処理場で通常の処理が終了した水を飲用可能な水準まで高度処理した再利用水）工場などを見学しました。PUB によるプレゼンでは、狭い国土のシンガポールに優れた技術でコンパクトな下水処理施設を建設したことが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。

次回第7回の開催は 2016 年 7 月 10 日～14 日の予定です。

（松田所長補佐 東京都派遣）

